



校番	199	学校名	広島県尾道南高等学校	校長氏名	山田 剛 司	全・  ・通	 ・分
----	-----	-----	------------	------	--------	---	--

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

尾道市立の唯一の夜間定時制高校として「明明徳」の建学精神を継承し、働きながら学ぶ生徒の確かな学力と豊かな人間性を育て、立派な社会人として商都尾道に貢献できる人材を育成する。

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

- (1) 個別具体の授業づくりを進めるとともに、多様な学びの場を提供し、生徒の主体的な学びを育てる学校。
- (2) キャリア教育の視点を軸として、社会人としての確かな将来構想を持ち、自分の生き方を追求する姿勢を育てる学校。
- (3) 様々な経験や考え方を持つ仲間と交流し共に活動することを通して、自己肯定感を持たせ、自他を尊重する心を育成する学校。
- (4) 積極的な情報公開、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域と共に生徒の一人一人の可能性を伸ばそうとする学校。
- (5) 危機管理を徹底し、学習環境の整備を進め、生徒が安心して学ぶことができる学校。

3 環境分析

(1) SWOT分析

内部環境 外部環境	強み(S) ・市立夜間定時制の単独校で学年制である。 ・特別支援教育の推進と組織ができています。 ・生活、就労支援のサポート体制がある。 ・小規模校で意識統一がしやすく、すばやい対応ができる。 ・学校行事や体験的活動等が充実している。	弱み(W) ・教育予算が少ない。 ・学年制であり、生徒の多様化した実態に柔軟に対応しにくい面もある。 ・施設、設備が不十分である。 ・生徒の課題が多岐に亘っている。 ・学校へ定着できていない生徒がいる。 ・十分な進路実現が図れていない。
機会(O) ・生活、就労支援推進のための関係機関との連携がとれている。 ・地域のエキスパートとの連携がとれる。 ・近隣の定時制高校との連携が十分とれている。 ・町内での理解は得られている。	・キャリア教育の充実に努める。 ・特別支援教育の充実を図り、指導方法の工夫を他の生徒への取組みに活かす。 ・総合的な学習の時間を活用し、米づくり体験、食育等特色ある教育内容を充実させる。 ・公開授業研究、オープンスクール、特設講座、文化祭など本校の教育内容を実施し、開かれた学校づくりを進める。	・キャリア・カウンセリングの充実を図り、自己の在り方・生き方について考えさせるとともに、自己実現への展望を持たせる。 ・生徒の実態把握に努め、学校へ定着できない原因を分析し、課題の共有化と取組みの強化を図る。
脅威(T) ・定時制高校に対する理解が不十分。 ・家庭との連携が十分ではない。 ・近隣に通信制の高校が開校した。 ・生徒の就職について受入先が少なく、また、理解も不十分である。 ・近隣定時制高校三修制の導入。 ・定時制の統廃合。	・公開授業研究、オープンスクール、特設講座、文化祭など本校の教育力と教育内容を公開するとともに、本校教育の特色を打ち出し、理解と支援を得られる学校づくりを推進する。 ・地域から信頼される安全で安心な学校づくりを進めるため、危機管理マニュアルに沿った指導を行うとともに、再点検する。	・自主性・自律性を養い、自己管理能力と集団における規範意識、人権意識の高揚を図り、生きる力を育成する。 ・校内外での挨拶を励行し、授業や行事等を通じてマナー教育を推進することで、コミュニケーション能力を向上させ、信頼される社会人の育成をする。 ・安全、安心な学校づくりを確立する。 ・学校新聞、ホームページ等により保護者、地域に本校の情報発信を行う。

(2) 戦略の決定

- 新学習指導要領への完全移行に向け、教育課程を見直し、本校独自の指導方法を工夫・研究し生徒の指導に活用する。
- 教育目標を焦点化し広く公開して家庭・地域の理解と協力を得るとともに、指導方針やルールを明らかに示して、徹底した指導を行う。
- 市教委・県教委の施策を導入して、教職員の育成及び指導力向上を目指し学校の教育力向上を目指す。
- キャリア教育、特別支援教育、人権教育を三本柱として、相互の教育活動をリンクさせて教育成果を生み出していく。
- 社会貢献について生徒が参加するような場面を設定し、ボランティア活動を企画し実施する。
- 生徒理解票を活用して生徒個別の育成方法を策定することによって、生徒の成長過程を累積記録し、キャリア教育を推進する。
- 地域で信頼される社会人を育成するために、対人関係を維持・向上するためのソーシャルスキルの育成に資源を集中する。
- 生徒・教職員に施設設備の使用責任意識を高め、学習環境、就業環境の整備に努める。

(3) 高校入試の状況(4月1日現在)

数年の志願者増加傾向について、遠方から本校を志願してくる生徒が増加しており、本校の教育内容が評価されつつあるととらえることはできる。反面、現状の施設のままで生徒数の増加に対応できなくなる見込みで、学習施設の拡充が大きな課題となっている。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
志願者数	19名	32名	27名	38名	43名	41名
最終志願倍率	0.48	0.80	0.67	0.95	1.08	1.02

(4) 在籍生徒の状況(4月1日現在)

入学生徒数の増加に伴い、在籍生徒数も増加している。1学年あたりの生徒数が増えることにより、施設・設備の充実、授業展開の工夫及び教職員の増員等の課題がある。また、生徒実態の多様化等により留年者数を減少させることが難しい状況があることを踏まえ、教育課程編成上の工夫や個別指導の充実といった観点から、単位制の活用等に向けて、尾道市教育委員会と連携・協議し、現状の改善に努める必要がある。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
第1学年	39名	45名	37名	50名	55名	56名
第2学年	32名	25名	23名	30名	38名	38名
第3学年	24名	18名	18名	22名	22名	30名
第4学年	13名	13名	12名	13名	17名	17名
合 計	108名	101名	90名	115名	132名	141名

(5) 休学者・中途退学者の状況(3月31日現在)

小中学校時代に不登校の経験を持つ生徒が多く入学しており、本校に入学後続けて登校している生徒も多くいるが、学校に位置付くことが難しく、休学に至る生徒もいる。また、中途退学者については、復学する可能性を探りながら休学期間3年間を満了し退学に至った生徒が多い。多人数の中に入っていくことを苦手とする生徒や、仕事や家庭の事情で休学する等、生徒の課題は多岐に亘っており、家庭と連携した綿密な対応・取組みが必要である。

【休学者】

年 度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	4月当初	3月まで	4月当初	3月まで	4月当初	3月まで	4月当初	3月まで	4月当初	3月まで	4月当初	3月まで
第1学年	19名	6名	8名	1名	10名	3名	7名	8名	7名	15名	6名	
第2学年	9名	5名	7名	2名	2名	5名	5名	4名	4名	6名	7名	
第3学年	8名	2名	3名	1名	3名	2名	4名	0名	4名	1名	1名	
第4学年	0	0	1	1	1	1	0	1	2	0	1名	
計	36名	15名	19名	5名	16名	11名	16名	13名	17名	22名	15名	
合 計	51名		24名		27名		29名		39名			

【中途退学者】

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第1学年	13名	18名	4	8	9
第2学年	10名	8名	0	5	6
第3学年	9名	4名	1	2	1
第4学年	0名	1名	0	0	1
合 計	32名	31名	5名	15名	17名

(6) 進路状況(3月31日現在)

昨年度は個別・具体の指導が奏功し、未定者は出たもののほぼ希望通りの進路決定がなされた。企業訪問や職業安定所との連携、特に若年ジョブ・サポーターとの連携が大きい。課題は、教職員のガイダンス力の向上である。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
就職	3名	4名	3名	1名	3名
進学	1名	2名	2名	2名	7名
一時的な就労	5名	4名	3名	5名	2名
その他	0名	0名	0名	0名	1名
未定	2名	1名	2名	2名	2名
合計	11名	11名	10名	10名	15名

(7) 各学年の状況

【第1学年】

在籍者56名(内 新入生40名, 留年者10名, 休学者6名) 施設面から第1学年56名を2クラスで経営せざるを得ない。現在では, 出席率は非常に高い。ただし, 授業に参加しづらい生徒も数名見られる。

【第2学年】

在籍者38名(内 転入生1名, 休学者7名) 生徒全体は落ち着きつつある。2学年スタート時の38名という数は例年より多い。留年した生徒はなく, 進級率は7~8割と高まってきている。

【第3学年】

在籍者30名(内 留年者4名, 休学者1名) 施設面から, 芸術, 情報, 食文化, 理科, 社会においては, 少人数(2クラス)展開せざるを得ない状況である。パート・アルバイト等を含め就労指導を継続し, 現在7割程度に上がっている。

【第4学年】

在籍者17名(内 休学者1名) 現在, 何らかの仕事に就いている生徒が4割, 在学中に進路決定できるよう取り組んでいる。県内からの求人数は4, 5件に伸び, 県外からの求人は20件以上である。卒業し正規雇用された生徒の評判も良く, 後輩の励みとなっている。

(8) 体験活動, 特別活動・部活動等の状況

総合的な学習の時間における「職と農・自然体験」「自分発見・自己向上」をテーマとした, 農業体験と社会体験は, 他校連携や異年齢間の共同学習の場としても, 本校教育の大きな特長として評価されている。昨年度から, 学習の成果発表の場として, 生活体験発表会を実施している。特別活動では, ボランティア活動等の社会貢献活動が実施に至っていないのが課題である。部活動においては, 夜間で十分時間がとれない現状であるが, 剣道部, 柔道部, それぞれ1名ずつ全国大会出場を果たす等, 運動部・文化部併せて18部が活動している。加入率も8割と高い。

(9) 教職員の指導力向上

公開研究授業1回, 校内研究授業2回, キャリア教育研修会, 特別支援教育研修会等, 教職員研修の場を多く設定している。本年度から不祥事防止委員会を中心として年間計画を策定し, 不祥事未然防止のための具体的な取組みを進めている。

(10) 情報提供・地域連携・地域貢献

ア 情報提供

ホームページが主な情報発信源となっている現状を打開し, 本校の教育活動の実際をより広く家庭, 地域, 地元中学校等に理解していただくため, 定期的な学校通信の発行を計画している。家庭や地域の理解と協力を得て生徒を育てるというスタンスを確立したい。

イ 特設講座

毎月9月から12月にかけて「地域に開かれた学校づくり」の一環として, 平日昼間時間帯に, 「パソコン教室」, 「How to 体ほぐし運動」, 「くらしの書」の3講座を開設している。10年前から継続実施している学校開放事業であり, 昨年度も3講座併せて90名程度の応募があった。「パソコン教室」はパソコンの設置台数の関係で, 抽選により受講者20名に絞っての開講となった。

ここ数年の特徴として, 中学校時代不登校傾向にあった本校生徒にも受講を勧めており, 不登校傾向の解消といった成果もでている。

ウ 地域ボランティア・地域貢献等

学校周辺の清掃活動等, 生徒会を中心とした企画・運営を基本として実施し, 自己有用感の高揚につなごう。

4 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値	目標値			担当部等
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1 基礎基本の徹底とことばの教育を中心に据え、生徒を活動させる授業研究を進めるとともに、生徒1人1人に学習目標を持たせる。						
1) 生徒の学習実態に応じた教育課程を編成するとともに、「協同的な学び」を目指し、生徒を活動させ学習意欲を育てる授業及び評価を行う。	授業アンケートによる満足度70%以上	未実施	60%	65%	70%	教務各教科
	授業への出席率80%以上	64%	70%	75%	80%	教務各教科
	公開研究授業の肯定度 内部外部70%以上	新規	60%	65%	70%	教務各教科
2) 自らの進路について主体的に学ぼうとする態度を育て、生徒1人1人に明確な将来展望を持たせる。	進路LHRの満足度 1年～2年:60%以上 3年:75% 4年:80%	新規	1年:60% 2年:60% 3年:65% 4年:70%	1年:65% 2年:65% 3年:70% 4年:75%	1年:70% 2年:70% 3年:75% 4年:80%	進路指導
	進路相談・進路面接の肯定度 全学年75%以上	新規	1年:65% 2年:65% 3年:70% 4年:75%	1年:70% 2年:70% 3年:75% 4年:75%	全学年75%以上	進路指導
	「総合的な学習の時間」におけるレポートの評価(A～C)の割合	新規	A25% B35%	A30% B40%	A35% B45%	教務
2 仲間とともに様々な活動に参加させることを通して社会性や規範意識を育て、自己肯定感や自他を尊重する態度を醸成する。						
3) 部活動、地域貢献活動に積極的に参加させ、スクールリーダーを育てるとともに、自己肯定感を高め、自己肯定感を高め、協力して事に当たる態度を育てる。	部活動加入率 95%以上	80%	85%	90%	95%	教務 生徒指導
	部活動参加率 80%以上	新規	60%	70%	80%	
	生徒会活動・体験活動の満足度80%以上	新規	70%	75%	80%以上	
	地域ボランティア活動 実施回数 3回 参加延人数 20人	年0回 参加人数 延0人	年1回 参加人数 延5人	年2回 参加人数 延10人	年3回 参加人数 延20人	
4) ルールやマナーを守らせ、学校生活を安定させ、生徒の自己管理能力を育成する。	問題行動延件数の在籍生徒数に対する割合 2%	5%	4%	3%	2%	生徒指導
	不登校生徒数の在籍生徒数に対する割合 10%	15%	13%	10%	10%以下	
	中途退学者数の在籍生徒数に対する割合 10%	15%	13%	10%	10%以下	教務 生徒指導
	休学者数の在籍生徒数に対する割合 20%以下	30%	25%	20%	20%以下	教務 生徒指導
3 積極的な情報公開とともに、本校の教育内容を積極的に発信し、家庭や地域とともに生徒を育てるスタンスを確立させる。						
5) 積極的・計画的な情報発信を進め、家庭、地域の理解を得、連携・支援関係を構築する。	ホームページへ更新回数24回 外部評価肯定度70%	8回 新規	12回 60%	18回 65%	24回 70%	教務
	「南高通信」創刊 発行回数 年8回	新規	5回	7回	8回	教務

6) 学校評価により、教育効果を測り、組織マネジメントを機能化し、教育水準の向上に向けての課題を明らかにする。	生徒・保護者アンケートによる学校の教育活動・内容に対する肯定度 70%以上	新規	60%	65%	70%	各分掌
	組織マネジメント自己評価肯定度80%以上	新規	70%	75%	80%以上	各分掌
7) 危機管理を徹底し、安心して通える学校づくりを目指し、地域からの信頼を得る。	不祥事防止委員会年間計画実施状況のホームページ掲載 更新回数10回	新規	7回	9回	10回以上	不祥事防止委員会
	安全点検 月1回年10回	3回	5回	8回	10回	生徒指導

5 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 基礎基本の徹底とことばの教育を中心に据え、生徒を活動させる個別・具体の授業研究を改善する。			
1) 生徒の学習実態に応じた教育課程を編成するとともに、「協同的な学び」を目指し、生徒を活動させ学習意欲を育てる授業及び評価を行う。	<p>ア 新学習指導要領への完全実施に向け、教育課程改善の研究・準備を進める。</p> <p>イ 基礎基本の徹底とことばの教育を中心に据え、テーマを設定し、それに沿った授業実践、授業研究を推進する。</p> <p>ウ 観点別評価を重視し、生徒の活動、関心・意欲・態度等を大きく評価する。</p> <p>エ 授業アンケートを実施し、その結果分析をもとに評価、改善を行う。</p>	<p>ア 単位制導入にスムーズに移行できる。</p> <p>イ 知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力が、生徒の学習活動の中でバランスよく指導されている。</p> <p>ウ 生徒が相互に相談し、教え合うといった学びの形態が定着し、学習意欲の高揚や授業出席率の向上が見られる。</p> <p>エ 研究授業体制が確立している。</p>	教務
	<p>【国語】 書く活動を授業に位置付け、読解力・思考力・表現力の向上を図る。</p> <p>【地歴公民】 社会の諸問題を主体的に捉える力を高める。</p> <p>【数学】 具体的な題材をもとに繰り返し指導を取り入れ、基礎基本の定着と数学的思考力の定着を図る。</p> <p>【理科】 実験や観察を多くとり入れ、思考力を深め、分かりやすい授業を目指す。</p> <p>【外国語】 音読指導を中心とした、基礎学力を高める指導を目指す。</p> <p>【保健体育】 体と心の健康づくり、集団性を高め、活力ある生活に向けスキルアップを図る。</p> <p>【芸術】 表現力と想像力を培い、豊かな感性を育む。</p> <p>【家庭】 技能の習得を目指し、生徒1人1人に目標を立てて実習に取り組みさせる。</p> <p>【情報】 基礎的な情報技術の習得を図り、作品づくりを通して自己表現力を高める。</p>		各教科
2) 自らの進路について主体的に学ぼうとする態度を育て、生徒1人1人に明確な将来展望を持たせる。	<p>進路LHRを充実させる。</p> <p>ア 早期から具体的な進路情報を示し、現実的な知識・技能を習得させ、進路意識を高める。</p> <p>イ 入学時からの進路学習記録を残すため、独自のキャリアノートを作成し、系統的・継続的な進路指導の充実を図る</p>	<p>ア 生徒の実態に応じた進路LHRが実施され、進路意識の高揚、進路目標の設定に役立っている。</p> <p>イ 個々の記録の累積により、計画的・継続的かつ系統的な進路指導が図られている。</p>	進路指導
	<p>進路相談・進路面接を充実させる。</p> <p>ア 個人面接シートを作成し、資質、興味・関心、学習成績等を十分把握した上で、効果的な面談を実施する。</p> <p>イ 学習状況に課題のある生徒に対する個別指導を行う。</p>	<p>生徒1人1人に明確かつ具体的な進路目標を持たせ、継続的な学習プランを立てさせている。</p>	進路指導

	総合的な学習の時間においてレポート評価を導入する。 ア 評価基準を設定し、具体的かつ客観的な指導と評価を確立する。 イ 体験学習や探求学習、社会参加等により、将来の自己実現に向けてのビジョンを育てる。 ウ これまでの学習成果を整理しまとめさせ、協力して生活体験発表会で発表させる。	ア 総合的な学習の時間における学習が、各教科の学習との関連性において深められている。 イ 総合的な学習の時間における探求学習のステップアップ、キャリアの深化・発展が見られ、プレゼンテーション能力が育っている。	教務
2 仲間とともに様々な活動に参加させることを通して社会性や規範意識を育て、自己肯定感や自他を尊重する態度を醸成する。			
3) 部活動、地域貢献活動に積極的に参加させ、スクールリーダーを育てるとともに、自己肯定感を高め、協力して事に当たる態度を育てる。	ア 部活動単位で、校内外におけるボランティア活動や環境整備活動を推進する。 イ 生徒会として「学校へ行こう週間」関連の地域貢献事業等具体的な企画運営を推進する。 ウ 地域やPTAの支援を受け、地域清掃活動を推進する。 エ 標語・啓発ポスターに積極的に応募する。	ア 生徒会が中心となり、主体的に地域貢献活動を企画・運営している。 イ 尾道市教育委員会や地域教育団体等を通して依頼された地域貢献事業に、生徒会や部活動が対応できる体制を築いている。	生徒指導
4) ルールやマナーを守らせ、学校生活を安定させ、生徒の自己管理能力を育成する。	ア 生徒会を中心に、南高スローガンを考え、広く明示する。 イ マナーやルールを焦点化し、校内で常に認識できるよう大きく掲示し、全教職員で徹底して指導する体制を構築する。 ウ 登校時の声かけを行う。 エ 校内巡回や下校時の校外巡回等を継続的に実施する。	ア 生徒にルール遵守の態度が育ち、安定した学校生活を送っている。 イ 問題行動や長期欠席者、不登校傾向の生徒が減少している。 ウ 登校時の声かけや下校指導に、生徒や保護者・地域住民から協力・支援を得ている。 エ 日常的な挨拶運動を実施している。	生徒指導
3 積極的な情報公開とともに、本校の教育内容を積極的に発信し、家庭や地域とともに生徒を育てるスタンスを確立させる。			
5) 積極的・計画的な情報発信を進め、家庭地域の理解を得、連携・支援関係を構築する。	ホームページを充実させる。 ア ホームページの内容を精選し、保護者・地域及び中学生やその保護者に、本校の教育実践、生徒の活動内容を具体的に盛り込む。(生徒会活動、行事、部活動実績、地域ボランティア活動等) イ リアルタイムでの更新に努める。	ア 簡潔明瞭で、分かりやすく具体的な内容のホームページ作成に努めている。 イ 保護者、地域、地元中学校に開かれた学校として、学校公開行事や地域貢献活動等、地域の協力を得て活動する本校の姿勢を鮮明にしている。	教務
	学校広報誌「南高通信」を創刊する。 ア 「南高通信」の計画的な発行等により、家庭、地域や地元中学校等に対し、本校の教育理念と実践の現状を広報し、地元中学校生徒・保護者からの信頼を得る。 イ 学校行事や生徒会活動、体験活動等を具体的に紹介し、生徒と教職員との交流を中心に編集する。 イ 各分掌・係や事務室からの配布物や連絡事項を知らせ、保護者の情報受取率を高める。	「南高通信」を定期的に年10回程度発行し、内容の充実・改善が図られ、本校の教育活動がよく理解されている。 家庭や地域とともに生徒を育てる本校のスタンスが確立され、地域から評価を得ている。	教務
6) 学校評価により組織マネジメントを機能化し、教育水準の向上に向けての課題を明らかにする。	ア 学校経営計画に基づいた自己評価を年2回実施し、「目標管理」を徹底する。 イ 外部評価アンケートを年2回実施・分析し、課題の改善に努めるとともに、結果をホームページに公表する。	学校経営目標が、各担当で具体的な行動計画として進捗管理され、自己評価、外部評価に基づいた次年度の行動計画が年度内に完成している。	各分掌
7) 危機管理を徹底し、安心して通える学校づくりを目指し、地域からの信頼を得る。	不祥事防止委員会を中核として危機管理体制の構築及び教職員のコミュニケーションづくりを進め、校内研修年間計画に沿って、継続的な取組みを進める。	危機管理チェック機能が具体的に進んでおり、教員相互のコミュニケーションも円満で、不祥事を起こさない土壌が醸成されている。	不祥事防止委員会
	月1回の校内安全点検を実施し、学習環境の整備を進めるとともに、定期的な夜間校外巡視を実施し、生徒の非違行為防止に努める。	安心・安全な学習環境が整備され、保護者や地域からの協力・支援を得た生徒指導が実施されている。	生徒指導